

100キロマラソンじゃあ〜なる



塞

5257

997-0826 鶴岡市美原町30-24

☎0235(22)3669

090-2986-7724 携帯

1984年9月15日第1号発行〜

2009年12月11日

師走の10日、朝日が眩しい位の上天気。早々に身仕度を整えて集合場
 所の Conslation 石川 宅へ。目的地が常夏の長ハワイなので履き軽装!?
 一行9名はいでは観光のマイクロバスに乗り込み成田空港へ出発
 午前9時少し前で午後5時到着と予定する。ドライバーは2人、
 寒河江SA、安達太良SAを経、阿武隈高原で小休憩。茨城県
 の友部SAでラストの休憩地として一路成田空港へ。予想した時間と
 大幅に短縮し午後4時過ぎには第一ターミナルに到着。程なく塔
 乗手続きを済ませ、フライト時刻まで新ビールで乾杯。レース前はアルコール
 を飲まないIさん。今日は特別? ス時間が瞬く間に過ぎ、塔
 乗開始。デルタ航空に置収された、NW航空機に乗り込む。機内は
 ほほ満席の盛況。機内ではアルコール有料の予定が、メニューには無料
 と記載されているので早速赤ワインを、しかし? のつく味付けだったのが少々
 不満。機内食は日本時間12月10日午後9時半。あまり多く胃袋に入る
 訳にはいかず、映画はヒーポッター。明日のことを考えて早々に寝る!

空港到着 入国審査が大混雑、通関に可成りの時間がかかる
 も、碧く晴れたホノルルに、私達はツアーバスで大会の受付会場へ
 こは予想した混雑もなく、スムーズにゼッケンを貰う。大会スタッフの一人
 が私共 鶴岡グループの集合写真をとってくれた。マラソン講座の在鶴
 メンバーから依頼された大会ロゴ入りのTシャツをそれぞれ分担して購
 入する(このTのグッズの値はずい分と高設定になっている)

に:数年

受付会場から徒歩でワイキキへ、雨に見舞われることの多いホノルル
 マラソン大会も予想はしていたが、今年は晴れて暑い。鶴岡との気
 温差は相当のもの。長袖、無帽では汗ばむ。ワイキキの途中で
 ランチを摂りながら、こんどは打合せ会場のカピオラニホテルへ。
 そのホテルのトイレはカードキー方式、仲々に毎間のかかるものだが、これも
 犯罪防止のためなのだろうか?
 別行動の若者達はビーチへと向った。暑いのでビーチは良い選択に
 思える。

午後2時からツアー全員の打合せが始まる。商業主義がみえみえで少々
 僻易とする。その後漸くのことホテルチェックイン。

イブニングラン 午後4時頃よりツアー催行者サドのランニンググループが時差
 ボケ解消も兼ねてジョギング講習を約1時間、カピオラニ公園と利用
 して実施。私共9名も睡もさせこらえて参加する。太平洋に夕
 陽が沈む頃に漸くのこと散会。石雀かに眠気は角解消したよ
 うに思える。

各人はホテルに戻り、身仕度の整い次第、夕食会を持つことに決し
 「田中オゴ東京」を捜しながら、漸く合同の夕食会兼結団式を行うこ
 とになった。レースまで2日ということもあり、各自ビールやワインを注文
 海鮮焼肉ステーキなどを腹一杯たのしむ。記録への意欲は程々だが
 初海外ということ(それも仕事を休んで...) 初日から大いに行動的
 な若年層人は見ていて心配よりも羨しい程である。

ホノルル到着初日から、気になることが1、2ある。先ず受付会
 場に隣接するホノルル大会関連グッズ(含はナイキ社)の価格がずい分
 と高設定であること。必ず売れる(日本人に)ことを想定していると思えるし、
 或る意味 殿様高売的なところもあり不愉快、というのも角解つていて
 乗せられている自分自身にも腹が立つのだが...

ツアーの謳い文句、オレヤンビューの部屋、海を眺めると見えないところ
 割当のラン友も多い。別に海がどうでも良いから、価格設定を廉価に
 すべき。ツアーそのものに肌目細かさが感じられない印象大である。

100キロマラソンじゃあ〜なる

5258

997-0826 鶴岡市美原町30-24

☎0235(22)3669

090-2986-7724 携帯

2009年12月11日

1984年9月15日第1号発行〜



HAWAIIAN AIRLINES BOARDING PASS



NAME OF PASSENGER [KUCHI/MITSUO

NAME: KIKUCHI/MITSUO

FROM HONOLULU TO HILO

FLIGHT: HA 361 V

DATE: 11DEC09

HAWAIIAN AIRLINES

DEPARTS: 6:36PM Hilo

ARRIVES: 7:25PM Honolulu

HAWAIIANMILES #

CARRIER FLIGHT CLASS DATE TIME A 122 V 11DEC741A

GATE BOARDING TIME SEAT SMOKE 56 701A 23A NO

GATE	SEAT	BOARD TIME
5	14A	6:06PM

ADDITIONAL SEAT INFORMATION

E-Ticket #: 1732128080243 - SSD

POS. CK. WT. UNCK. WT. SEQ. NO. POS. CK. WT. UNCK. WT.

Conf #: HOHRKY

BAGGADE ID NPL

COMPON AIRLINE FORM SERIAL NO. CK ELECTRONIC

D /HNL

「ホノルル2日目」4時起床する。洗面を済ませてモーニングコールを待つ(4時にモーニングコールと連絡されていたので...) いよいよ4時半すぎにTelのビルが。今日はハワイ島へ丸一日観光することになっていた。マラソンレース前に、お判考えのないことだが、寄る年波か、レースのことなどどうしても良いと思っていた節もある。本当はキラウエア火山の噴火を見たが★、とにかく送迎バスが5時半すぎに来るとホノルル空港へ、同じハワイ州なのにパスポートが必要だという。10+タイマーと覚しは老婆が高飛車な(まるで幼稚園の遠足?)もの、2列に並べ!! とか返事が無い!! とかとにかく喧しい。しかしやっぱりハワイアンエアに搭乗。眼下にはホノルルの街と山岳部からの黒雲を見下しながら、一路ハワイ島目指して南下、モロカイ島、マウイ島を見越え、ビッグアイランドの東側、ヒロ空港へ着陸。海(港)には10万^ト級の客船が停泊中であるのを感じる。こんな所へ何故豪華客船が? と思っていた。後で判ったことだが、以前は日本の客船「飛鳥」も来港したとのこと。(Hilo湾) とにかく、夜のハワイ島上陸。皮膚は質素な空港施設のように見える。迎へに来た係も相当の年齢に見える(70は超えている?)。私達1名総勢16名と以外に少ない。2階建の空港は南国風だがやっぱり質朴に見える。ガイドの話ではハワイ島は州の中で一番の島。カハハハ王朝の5代目までがここにいて、その後オアフ島へ移った。ヒロの市街は4/1地震津波で大きな被害を受け、相当のダメージだったとのこと。その海辺から眺るマウナケア山は(4,138mの高さ)雄大で見守る者を

圧倒する。空は青いので山頂にある天文台も見渡すことができ、良い時に観光に来たと、ガイドが自慢する。まあ確かに★思う……。私の期待ではハワイ島の西、コナにも行けるものと考えていたが、どうも日程が一日観光では無理らしい。ガイドブックにはさも全島周遊ができるみたいなおとだったが、どうやら旅行社の策にはまたらしい。詳細に事前確認しなさいで決めた自分の負けと、と敢えず納得する。しかし、愈々キラウエア火山(活動中)に行く、噴煙があがり、炎が見られれば大満足だが... 噴煙はきものはクレーターに鬆しく上って(マクマ)いよものの火焰は全く見えず水蒸気が上っているだけ。ここでもガツカリした。車は溶岩道路の中を走り、時には溶岩トンネルに徒歩で通ることもできたが、やはり今午の感は免れたい。その噴出した溶岩が海に流れ急冷されて出来た場所の黒砂海岸は水泳(?)も出来ず(現に海浜で人々を見かけた)、おまけに青海亀が甲羅干しに来た。4m以内には近付かないようにと注意もされていたが、同行のEさんはちよこりとかの傍に佇んで写真に収めていたわ!! その後は植物ガーデンに行ったり、日本人の経営する蘭園に回ったりとせわしくヒロ市内をバスで走り、夕方6時36分フライトの飛行機でホノルルへと帰る。

13